

Monthly Report

2017年 / 5 月号



目次

- 1 面：旅行社の声（現地旅行社キーマンインタビュー）
- 2-3面：一般情報/トレンド情報
- 4 面：壹友からの声/マーケット情報



Wechat(微信)

現地旅行社からの声

個人観光ビザ発給要件緩和が訪日旅行の追い風に

4月21日に日本の外務省から、中国人に対するビザ発給要件緩和措置が発表され、5月8日から開始されることが決定しました。更に多くの中国人観光客に、何度も日本を訪れてもらうことを目的としています。更に日本政府が2020年の目標に掲げ、訪日客の4000万人達成に向けての動きだとみられています。このビザ発給要件緩和の追い風に乗って、今年の中国人訪日客数は、800万人を超えるだろうと推測されています。また、中国の旅行会社からは、東京、大阪だけに集中するばかりではなく、それ以外の都市にも行ってもらいたい為ではないかという意見が多数です。

好評連載 【今を知る! 現地旅行社 キーマンに聞く。第29弾】

上海巨龍国際旅行社有限公司 日本部 殷一平 (Yin yipin) さん

- Q 最近の訪日旅行状況を教えてください。
- A 団体客が少なくなって、FIT客が増えつつあります。
より多くのFIT客に更に良いサービスを提供していくのが我々の役目です。
- Q 団体客が多いですか。それともFITが多いですか。
- A 弊社は華東地区において、個人ビザ取扱数がNo.1です。
- Q 弊社発刊の冊子「壹遊日本」について感想やご意見をお願いします。
- A この雑誌は私もよく見えています。私にとっては商品を開発の参考になる雑誌です。引き続き、是非たくさんの情報を載せてくださいね。
ありがとうございました。



中国の観光競争力、世界15位に上昇

世界経済フォーラムが6日に発表した『2017年旅行・観光競争力指数』によると、中国の国際競争力は上昇し、世界ランキング15位に入った。

世界経済フォーラムが隔年で発表している同レポートは世界136の国と地域が対象。観光業の発展が、経済・社会にもたらす効果の潜在力を分析している。観光政策、環境保全、インフラ、自然、文化資源の4領域、90の指標を総合的に評価したもの。中国の順位は2015年より2ランク上がった。

指標別に見ると、中国は文化資源（1位）と自然資源（5位）に優れている。観光業発展への重視度が高まるにつれ、中国の観光産業の開放度、情報通信、観光インフラのレベルとサービス水準も向上している。

報告によると、世界観光競争力ランキングの上位に変動はなく、2017年もスペイン、フランス、ドイツがトップ3。しかし、発展途上国と新興経済圏の観光業も急成長してきている。地域別にみると、欧州諸国の観光競争力における優位性は、引き続き際立っている。もっとも躍進が目立つのはアジアの観光市場。規模は欧州に次ぎ、世界で最も活力があり、友好的な訪問先となった。中でも、2016年に中国を訪れた外国人観光客は約5700万人で、アジア全体の20%以上を占めた。レポートは、アジアは世界で入国者数の増加スピードが最も速い地域で、観光業に「アジアの世紀」が到来したとしている。

レポートによると、現在、世界のGDPに対する観光業の寄与度は10%を上回り、世界の雇用ポスト10個のうちの1つが観光業である。

中国的観光競争力上升至世界排名15位

根据世界经济论坛6日发表的『2017年旅游竞争力报告』，中国的旅游业的国际竞争力上升，世界排名第15位。世界经济论坛隔年发表的该报告是以世界136个国家和地区为对象，根据旅游业的发展经济、社会带来的效果的潜在力分析，以及旅游环境，政策条件、基础设施、自然资源的四个领域的实绩的综合所评价的。中国的排名从2015年上升了2级。

从指标来看，中国在自然资源资源（1位）和自然资源（5位）方面表现优秀。随着旅游业发展的重视度，中国的旅游产业的开放度，信息通信，旅游基础的水平和服务水平在不断提高。

根据报告，过去的旅游强国依然处在世界旅游竞争力排行榜上，2017年西班牙，法国，德国成为前三，但发展中国家和新兴经济圈的观光业也在急速增长。

根据地域不同，欧洲各国的旅游竞争力的优势是继续突出的。在规模仅次于欧洲的亚洲的观光市场成为世界上最充满活力的友好的观光地点。其中，在2016年访问中国的外国游客约5700万人，占整个亚洲的20%以上。报告说，亚洲是世界上的入境人数增长最快的地区，旅游业的“亚洲的世纪”已然来领。

根据报告，目前世界对GDP的旅游业的贡献度超过10%，世界的就业岗位10个中有1个是旅游业。

(出先:4/6日付け 人民ネット 訳: 壹友)

→ モバイル金融サービス利用者 女性の割合が上昇 24歳以下も最多

携帯電話による資産運用や消費を好む女性が益々増え、男性とほぼ同じレベルにまで達するようになっている。「95後」（1995年から1999年生まれ）の人々は携帯による支出を最も好む世代とみられ、調査会社の易観がこのほど発表した報告書「中国モバイル金融市場における特定問題分析2017年」によると、モバイル決済の規模が再び過去最高を更新して、192兆8千億元（1元は約15.7円）に達したとしている、と揚子晩報が伝えた。

同報告書によれば、2016年に中国全世帯数の投資可能資産の規模は、147兆5千億元に達するとしている。資産運用ニーズが高まりをみせ、特に農村金融分野でのニーズの高まりが目立った。2016年末現在、国内の携帯電話を利用したネットユーザーは6億9千万人に達した。最新の各モバイルインターネット分野の活況からみると、浸透率が最も高いのはソーシャルネットワーキングサービス。以下、アプリケーションストア、動画、モバイル音楽サイトなどが続く。モバイル金融サービスの中で、ユーザーの利用が最も盛んな分野は決済。それでも、その活況を示す絶対的浸透率は38.4%にすぎず、相対的に低い。今年2月のインターネット資産運用プラットフォームランキングをみると、トップには京東金融、アント・フォーチュン、天天基金網などが並んだ。

また、同報告書は中国のモバイル金融ユーザーの姿を表している。ビッグデータの統計によると、2016年のモバイル金融における利用が盛んな女性ユーザーの割合は46.72%、男性ユーザーは53.28%で、女性の割合が上昇した。年齢層別にみると、依然として若年層が中心となっており、24歳以下が最多、31～35歳がその次で、両者を合わせると約半数に達する。モバイル金融の利用が盛んなユーザーの利用時間は、毎日午後0時から8時の間に相対的ピーク時間を迎える。

専門家の分析によると、「金融科学技術はすでにモバイル金融の『ファン獲得』の武器になっており、資産運用アプリの『非配貨化』や他の資産運用ルートと異なる『千人千様』モデルが、個々人に見合ったスマート資産運用というネットワークコンセプトをよりよく実現させることになる」という。

→ 移动金融利用者女性的比例上升 24岁以下最多

现在手机的资产运用和消费的女性越来越多，与男性几乎达到了同样的水平。“95后”（1995年开始1999年出生）是最喜欢使用手机的年龄段人群。根据易观最近发表的报告书「2017年中国移动金融市场的特定问题分析」显示，移动支付规模再次创新高，达到192兆8千亿元（1元约15.7日元）。

报告书指出，中国家庭16年的投资资产规模达到147万亿元，对资产运用的需求日益高涨，特别是在农村金融领域的需求更大。在2016年末，国内的手机用户达6亿9万人，在最新的各个移动互联网领域来看，渗透率最高的还是社交网络服务，接着是应用程序，动画，移动音乐网站等领域。即使在移动金融中的用户的利用最高的领域，根据结算显示其绝对渗透率仅为38.4%而已，相对较低。据今年2月的资产运用应用软件的有效度排名显示，从高至低依次是东京东金融、安特、财富、天天基金网等。

同时，该报告书中描写了中国的移动金融用户的画像。大数据统计，16年的移动金融中利用率高的女性用户的比例是46.72%、男性用户53.28%，女性比例明显上升。按年龄层来看，依然以青年为中心，24岁以下居多，31～35岁，两者合计约半数。移动金融利用频繁的用户的时间是每天从下午0点到8点间的相对的高峰时间。

专家分析，“金融科学技术已经成为斩获粉丝的移动金融的武器，资产运用应用程序的非标配商品化和其他资产运用的路线不同的《千人千面》模式是为了更好地实现符合每个人的智能资产运用这一网络概念。”。

(出先: 04/17日付け 揚子晩報 訳: 壹友)

>>> 壹友からの声

→/ アリペイの利便性、外国人も感心

先日、杭州に6年間を住んでいた外国人2名が「スマート杭州1日ツアー」を体験した。道端の軽食屋で朝食をとり、自由市場で野菜を購入。バスや地下鉄に乗り、病院で受付を済ませてから診察を受け、デパートで食事をして、ショッピング。さらにはレンタサイクルで西湖の散策などを楽しんだ。2人は現金を一切持たず、これらの代金を全て支付宝(アリペイ)で支払った。彼らはこのツアーを通して、携帯電話1台さえあれば全ての支払いが行えるという、生活の利便性に感心しました。

最近、モバイルで支払いだけでなく、モバイル金融サービス利用者数も上昇しています。モバイル決済はますます便利になり、支払の習慣が大きく変わるようになってきました。現金をほとんど使わずに、スマートフォン1台あれば間に合う時代になってきています。少額の取引もモバイルで済ませられます。アリペイが普及した理由の一つに、詐欺まがいの取引が横行する中国独自の背景がありました。購入代金をアリペイが一時的に預かり、販売業者側に問題があればすぐ返金するという方式は、販売業者と消費者の信用の再構築に貢献できたと思われませんが、これからも商業モデルは激しく変化していくと思われます。

>>> タイムリー 中国マーケット情報

◆団体

団体旅行のニーズは減っていますが、小グループのニーズが徐々に出てきています。

◆FIT

北朝鮮のミサイル問題で、韓国ツアーが一時中止されるようになり、日本へのFIT需要がますます増えるようになってきました。夏休みが近づいて、次の日本旅行を計画している方も増えています。

◆商品造成

ビザ申請条件緩和の政策により、これからはFIT向け首都圏+地方行きの商品が出てくる見込みです。



株式会社フレンドリージャパン

〒150-0043

東京都渋谷区道玄坂1-15-3 プリメーラ道玄坂 805

TEL : 03-6416-5505 FAX 03-6416-5515

E-mail : madoguchi@friendlyjp.com HP <http://www.friendlyjp.com/>